

ULVAC

株式会社 アルバック

決算説明資料

2022年度 第3四半期 2022年7月~2023年3月

2023年5月12日

証券コード : 6728

Breakthrough 2022

将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1. 中長期的な成長戦略に変更なし(半導体・電子等成長分野に開発投資を集中し、2026年6月期に売上高3,000億円以上、売上総利益率35%以上、営業利益率16%以上を目指す)**
- 2. 半導体・電子へのシフトは順調に進展 (パワーデバイス・各種電子デバイス・ロジックが増加、19年度の2倍に成長)**
- 3. 3Q累計受注高は、FPDの前年同期比反動減に加え、3Q受注予定のFPD・電子案件の4Q期ずれ等により前年同期比減少
受注高減少等により売上高・営業利益ともに前年同期比減少**
- 4. 22年度通期業績予想の下方修正・配当予想据え置き**
 - ・ 売上高2,150億円、営業利益175億円に下方修正。安定配当の観点から配当予想据え置き**
 - ・ 部品長納期化対応強化中、7月組織変更により管理体制強化**
 - ・ 半導体・電子の成長で高水準受注が継続し、年度末受注残高は1,500億円以上を見込む**
 - ・ パワーデバイス・各種電子デバイス・ロジック等の成長継続、バッテリー用巻取装置投資始動で来期以降の更なる受注・売上拡大を目指す**

2022年度通期業績予想の修正

- FPD・電子受注の期ずれによる売上貢献の遅れ、半導体投資減速等による売上及び利益の減少が見込まれることから、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正
- 配当予想は据え置き

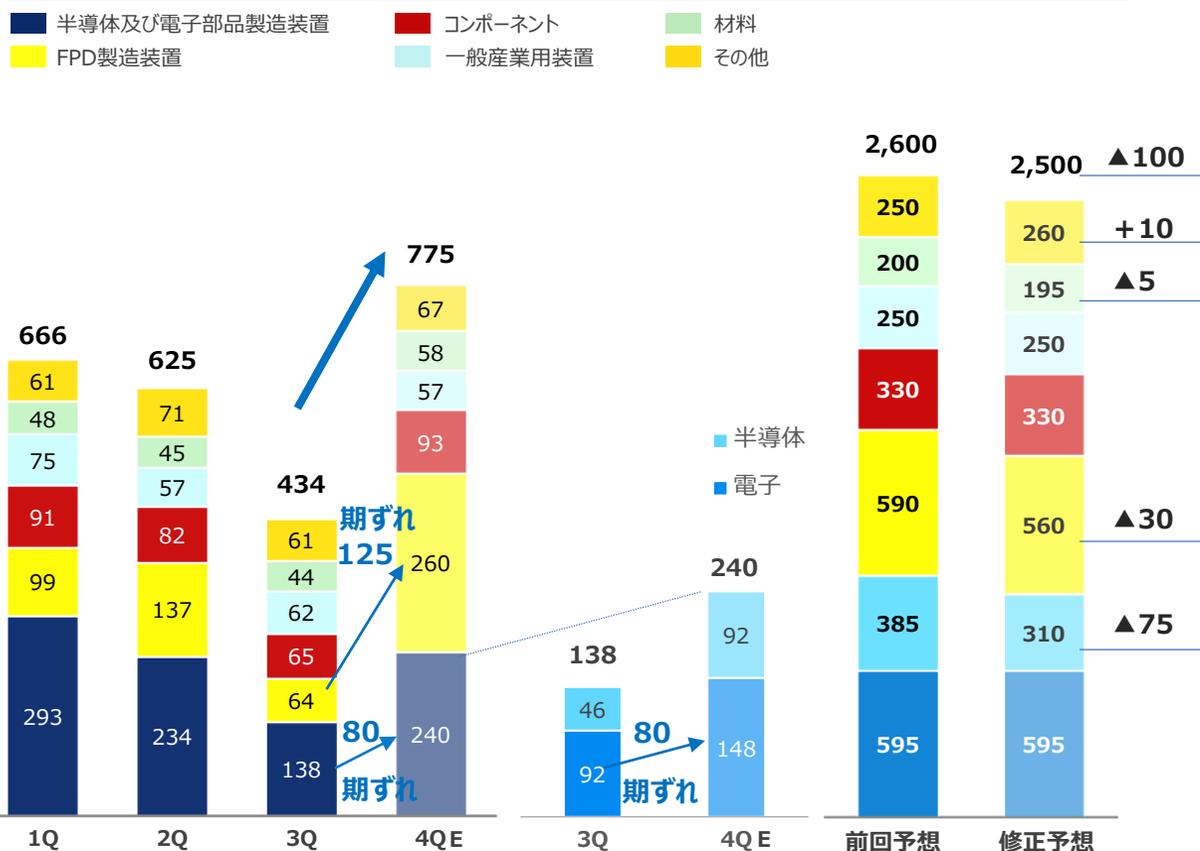
【単位：億円】

	2021年度	2022年度			
	実績	前回予想	修正予想	前回予想比	前年同期比
受注高	2,701	2,600	2,500	-100	-201
売上高	2,413	2,300	2,150	-150	-263
営業利益	301	240	175	-65	-126
率	12.5%	10.4%	8.1%	-2.3pt	-4.3pt
経常利益	322	275	210	-65	-112
率	13.3%	12.0%	9.8%	-2.2pt	-3.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	202	200	160	-40	-42
率	8.4%	8.7%	7.4%	-1.3pt	-0.9pt

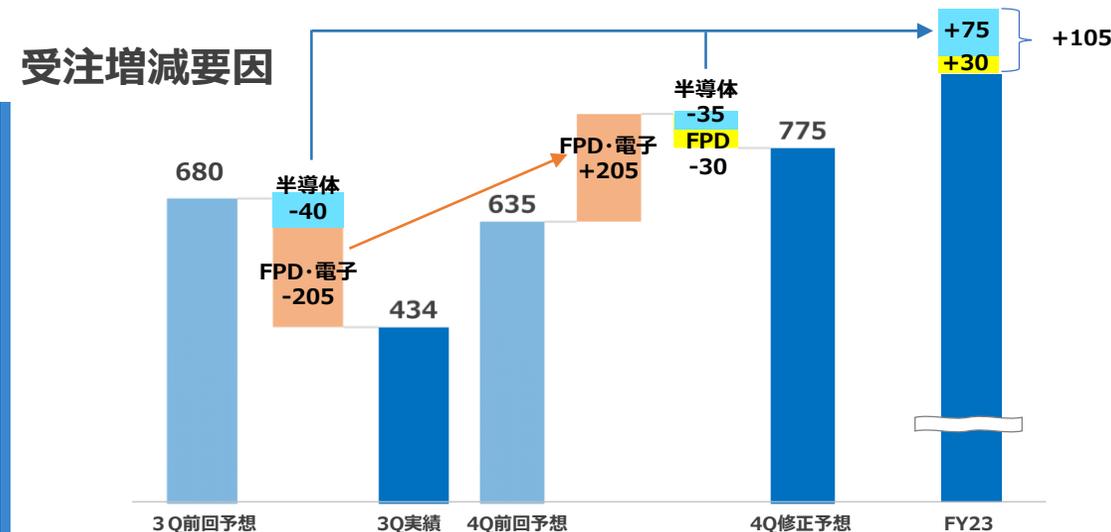
受注高予想の修正（四半期推移）

- 3Q受注は、FPD(125億円)、電子(80億円)、計205億円が3Qから4Qに期ずれし、一時的に低下
- 通期受注は、半導体(3Q40億円、4Q35億円)・FPD(4Q30億円)の来期への投資延期等により前回予想を▲100億円下回る見込み

受注高 【単位：億円】



受注増減要因



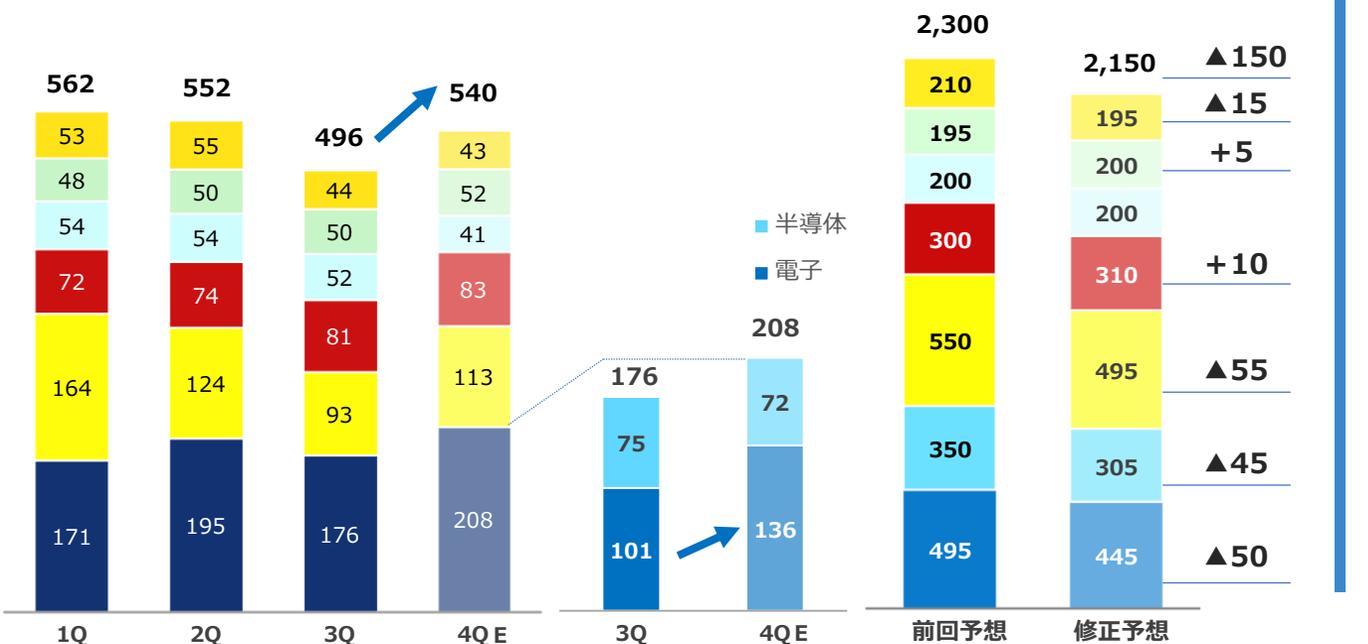
FPD	ITパネル用LCD	約100億円	3Q⇒4Q (50億円受注済)	約125億円
	バッテリー	約25億円	3Q⇒4Q	
	OLED・キャパシター	約30億円	来期へ	約30億円
電子	パワー (IGBT・SiC)	約45億円	3Q⇒4Q (12億円受注済)	約80億円
	電子デバイス	約35億円	3Q⇒4Q	
半導体	メモリ	約45億円	来期へ	約75億円
	ロジック	約30億円	来期へ	

※前回予想比増減

売上高予想の修正（四半期推移）

- FPD・電子受注の3Qから4Qへの期ずれによる売上貢献の遅れ、半導体・FPD受注の投資延期等による売上高減少で2,150億円（▲150億円）を見込む

売上高 【単位：億円】



※前回予想比増減

FPD
受注期ずれ(3Q⇒4Q)125億円・翌期への投資延期30億円
⇒売上高▲55億円

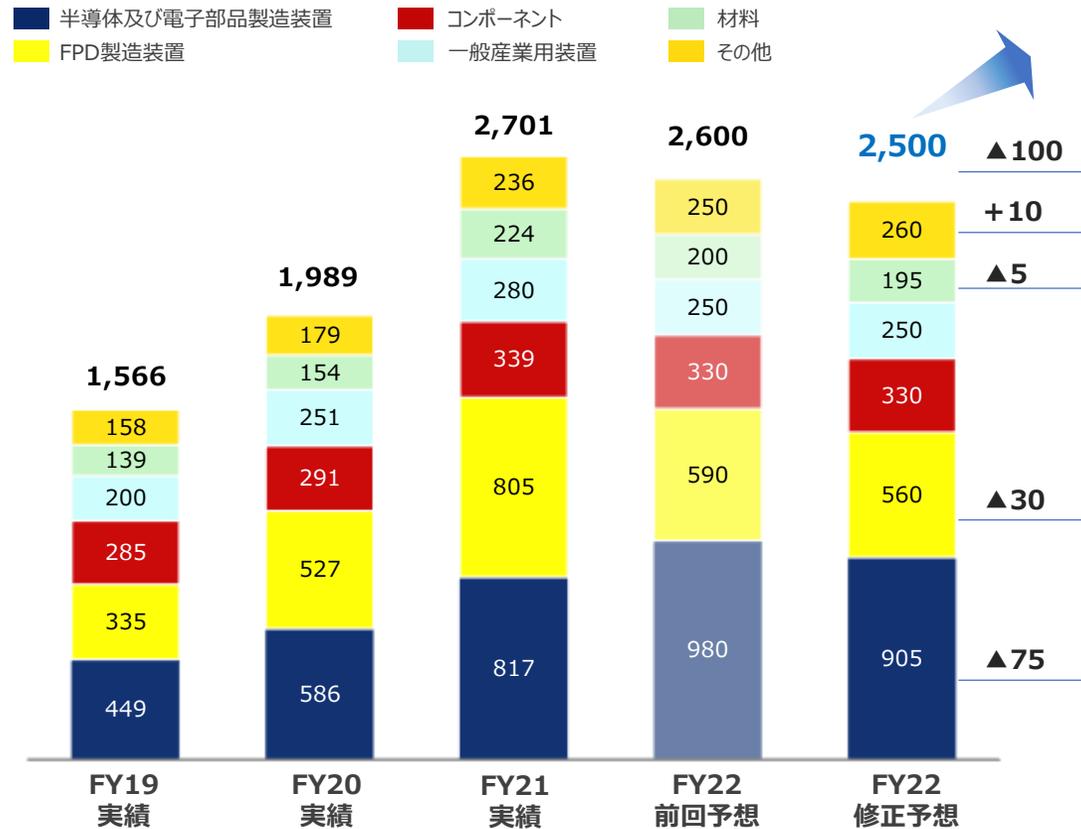
半導体
翌期への投資延期75億円
⇒売上高▲45億円

電子部品
受注期ずれ(3Q⇒4Q)80億円
⇒売上高▲50億円

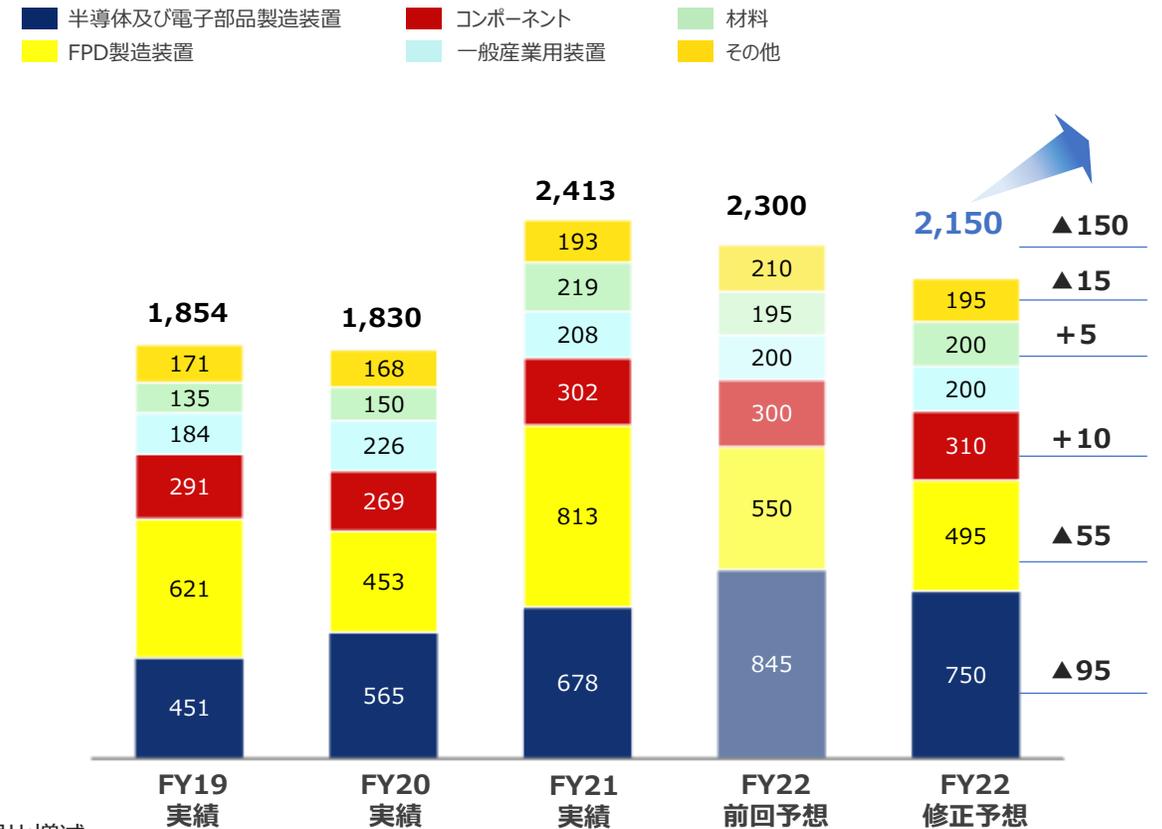
受注高・売上高予想の修正

- 受注高：半導体投資減速、FPDの投資延期等により2,500億円（▲100億円）を見込む
- 売上高：FPD・電子受注の3Qから4Qへの期ずれによる売上貢献の遅れ、半導体・FPD受注の減少による売上高減少等で2,150億円（▲150億円）を見込む
- 今年度末の受注残高は1,500億円以上の見込み

受注高 【単位：億円】



売上高 【単位：億円】



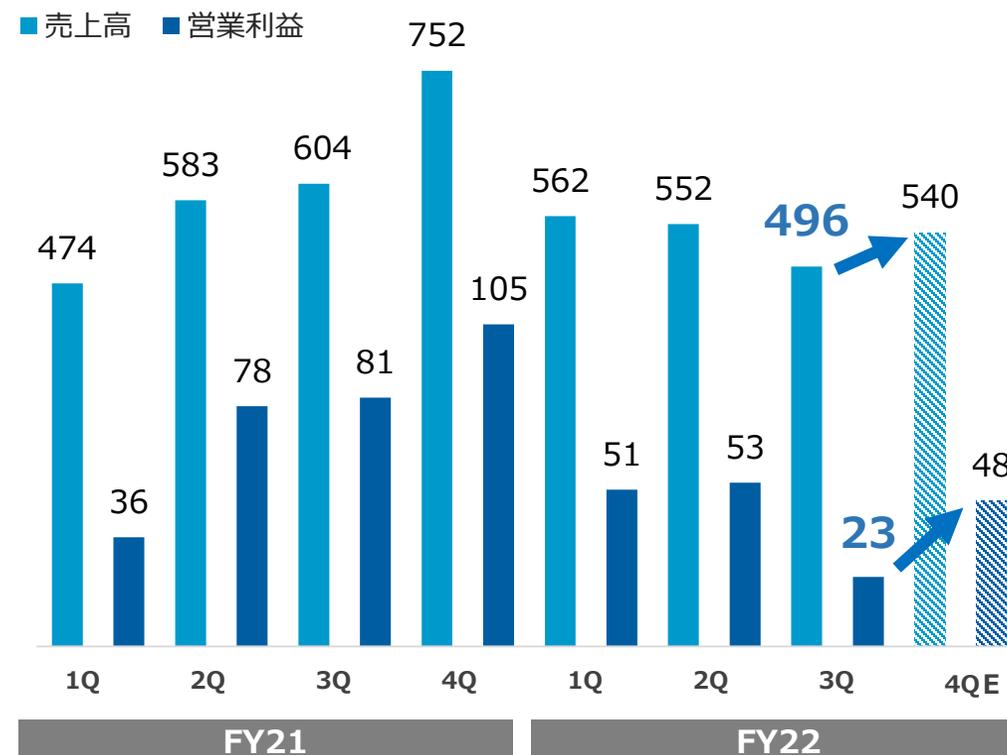
※前回予想比増減

- 受注高はFPDの反動減に加え、3Q受注予定のFPD・電子案件の4Q期ずれ等により前年同期比減少
パワーデバイスや各種電子デバイス、ロジック等は引き続き好調
- 売上高・各利益（率）は受注高減少等により前年同期比減少。4Qは増収増益見込み

【単位：億円】	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	
	実績	実績	前年同期比
受注高	2,042	1,725	-316 -15%
売上高	1,661	1,610	-51 -3%
売上総利益	508	480	-27 -5%
率	30.6%	29.8%	-0.7pt -
販管費	312	353	+41 +13%
営業利益	195	127	-68 -35%
率	11.8%	7.9%	-3.8pt -
経常利益	204	157	-48 -23%
率	12.3%	9.7%	-2.6pt -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	138	118	-20 -15%
率	8.3%	7.3%	-1.0pt -

売上高と営業利益の推移

【単位：億円】

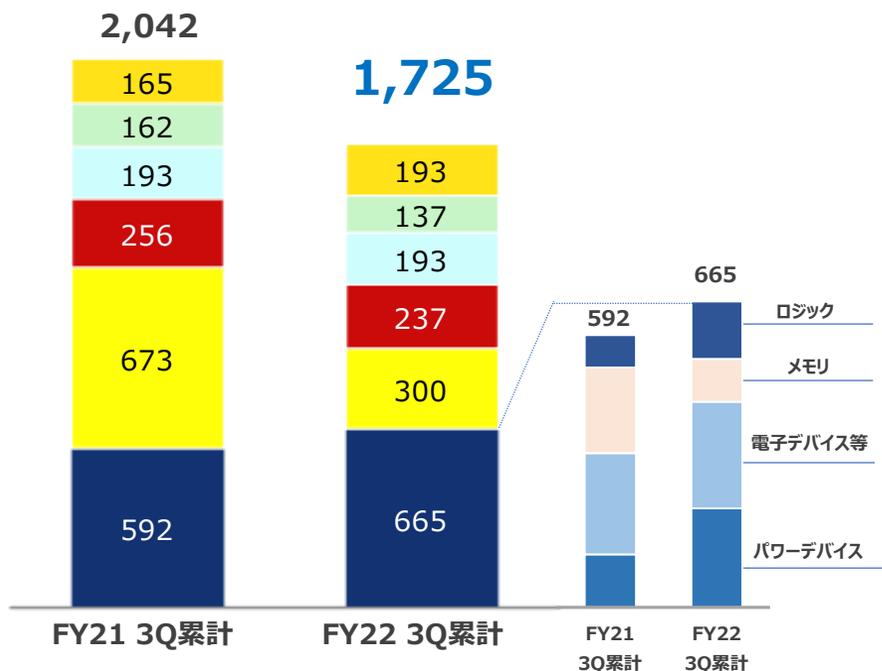


受注高・売上高とも前年同期比減少（半導体・電子は前年を上回る）

- 受注高：FPDの反動減に加え、材料やコンポーネントの減少により前年同期比減少
- パワーデバイスや各種電子デバイス、ロジック等が引き続き好調で半導体電子は前年同期を上回る
- 売上高：受注高減少等により前年同期比減少

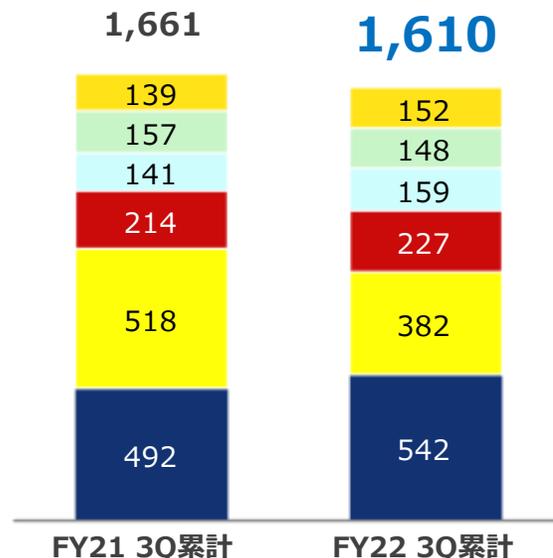
受注高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



売上高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



半導体・電子

半導体

ロジック顧客拡大、新工程寄与もメモリ投資減速

電子部品

パワーデバイス：日本（IGBT中心）・中国（SiC中心）で投資拡大

電子デバイス：アナログIC、AR/VR用μOLED等各種電子デバイス投資継続

FPD

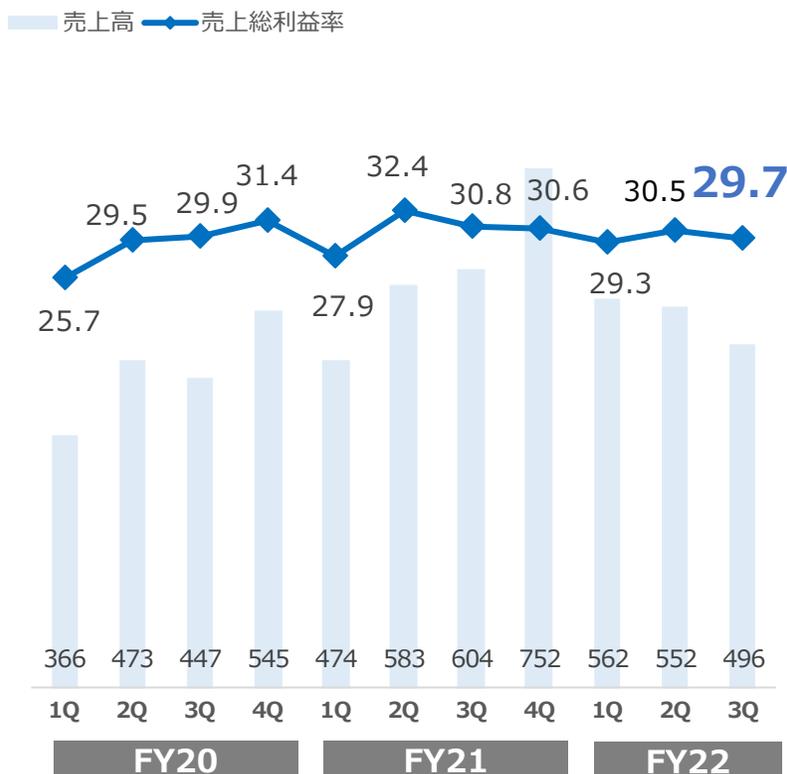
前年度に活発化したITパネル用LCD投資の反動減により前年同期比減少

3Q受注予定のFPD案件（約125億円）・電子案件（約80億円）が4Qに期ずれしたため前年同期比減少幅拡大

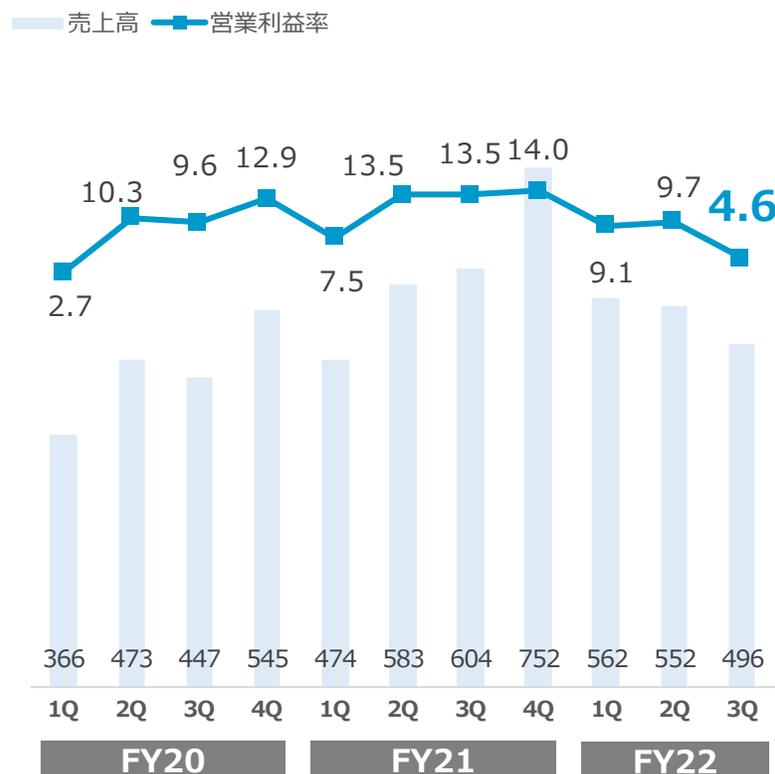
四半期利益推移

- 売上総利益率：売上高減少に伴い、利益率低下
- 営業利益率：売上総利益率の低下に加え、販売管理費（研究開発費）が増加し営業利益率低下
- 販管費率：先行投資となる半導体関連等の研究開発費が増加し4.4%上昇

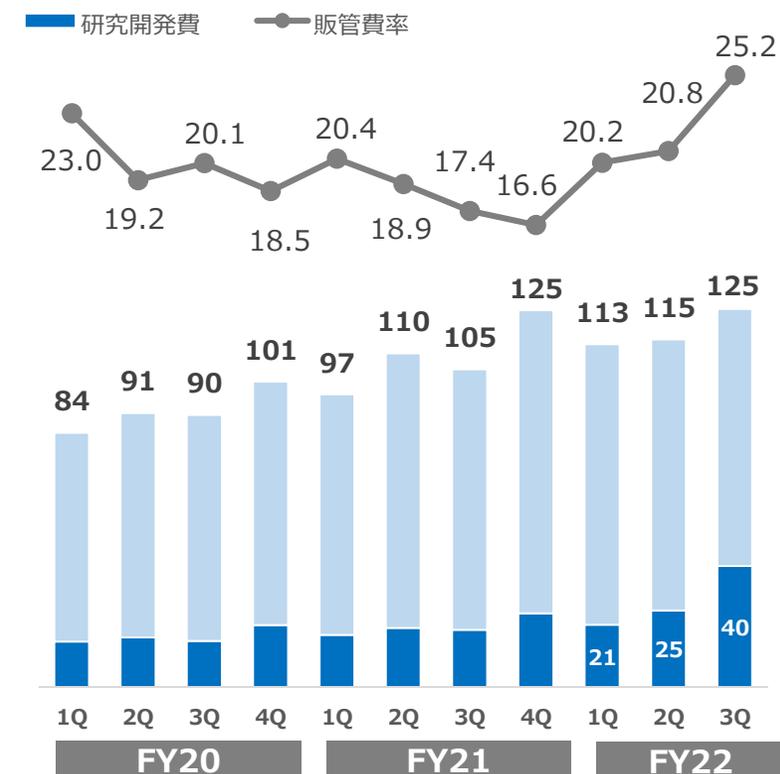
売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】

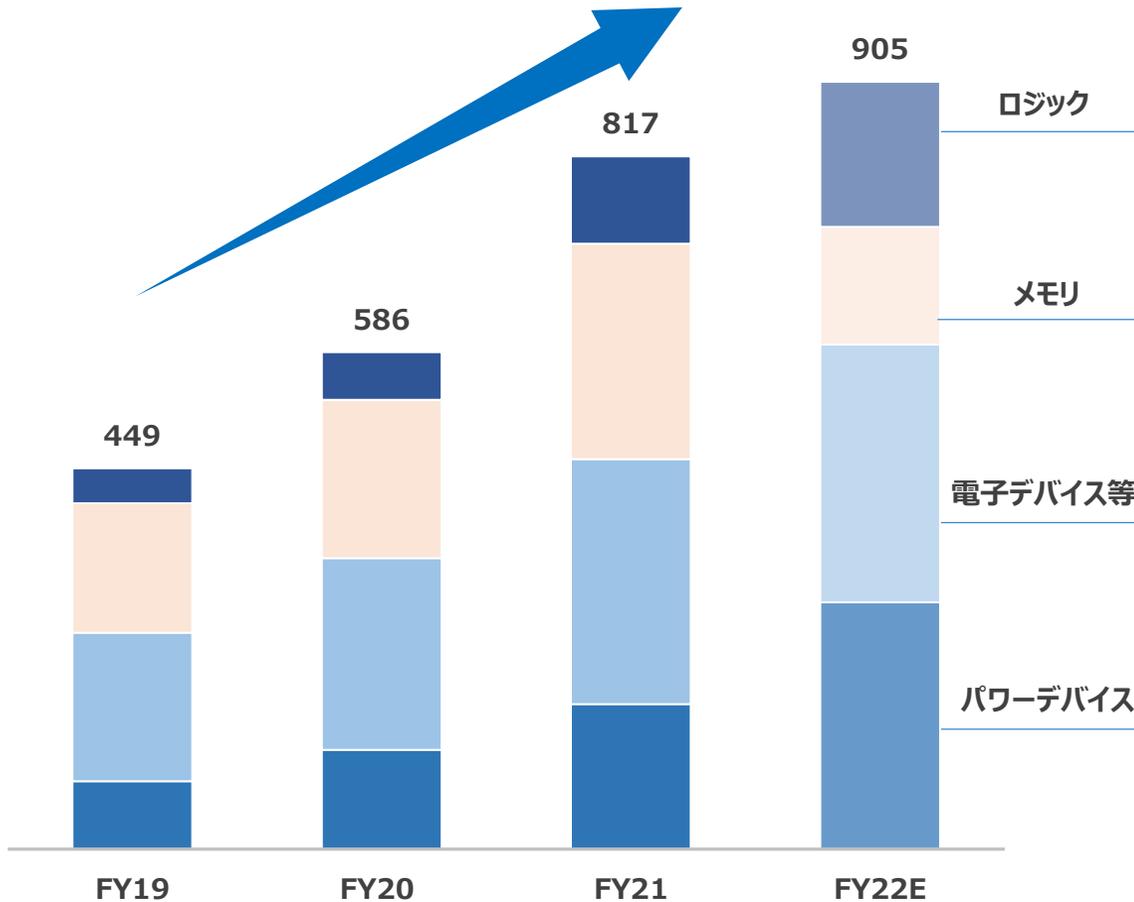


販管費推移 【単位：億円、%】



- メモリ投資は足下減速も（23年度下期回復見込み）、ロジック・パワーデバイス・電子デバイス等で成長継続

半導体・電子の分野別受注推移 【単位：億円】



来期以降も成長継続

- > MHM工程：先端ロジック投資は足元減速も着実に成長
- > 新規顧客：レガシー分野の生産増強に伴い、投資継続
- > 新工程：MHM工程高評価・セカンドベンダー期待
⇒ MHM工程と他工程で成長継続

- > メモリ：足元軟調も23年度下期から投資回復見込み
市況回復に加え、新工程参入で成長

- > オプトデバイス：AR/VR用μOLED、μLED、3Dセンサー等の投資活発化
- > 各種電子デバイス：パッケージング等技術革新投資・増産投資が継続

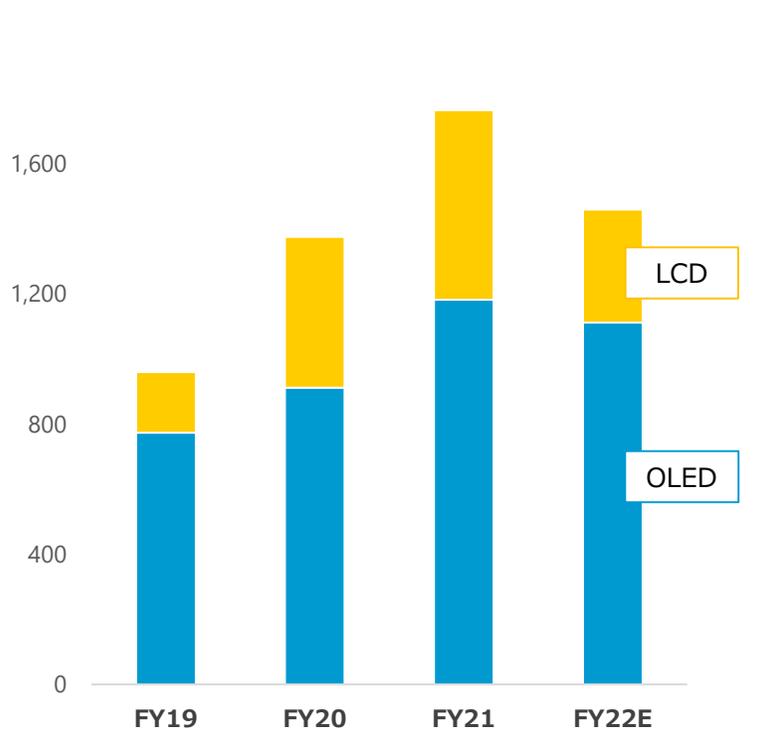
- > 日本：主要各社の中長期的な積極投資継続（IGBT・SiC）
- > 中国：SiC投資は量産ステージへ
Si-MOSFET投資継続

- ITパネル用大型基板OLED（G8.6~7）量産投資のタイミングが来期に期ずれ ⇒ 来年度以降量産投資開始
- バッテリー用巻取装置投資が始動 ⇒ 来年度以降本格投資開始
- 来期以降も600億円前後の受注を見込む

FPD設備投資動向 (スパッタ・蒸着)

【単位：億円】

■ OLED ■ LCD

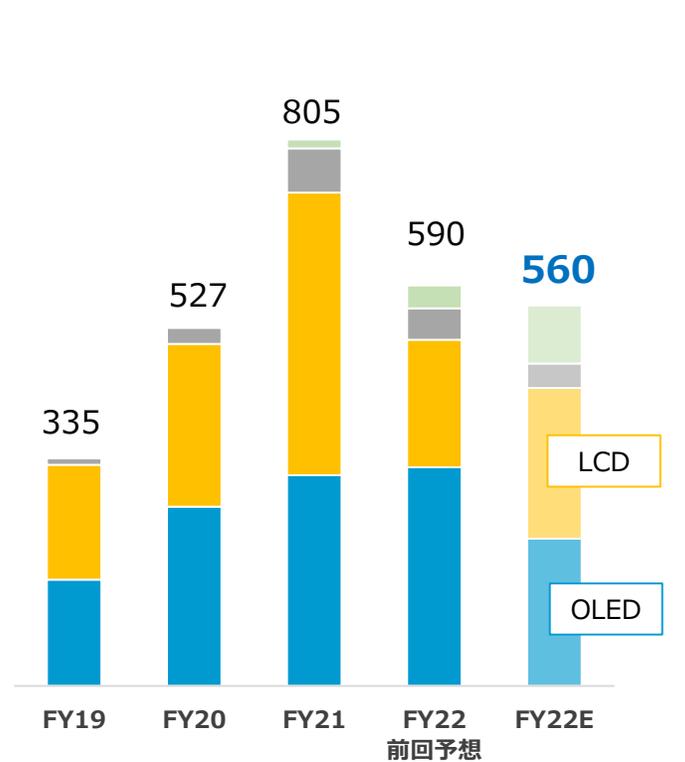


出所：当社予測

受注見込み

【単位：億円】

■ OLED ■ LCD ■ キャパシタ・その他 ■ バッテリー



今期受注

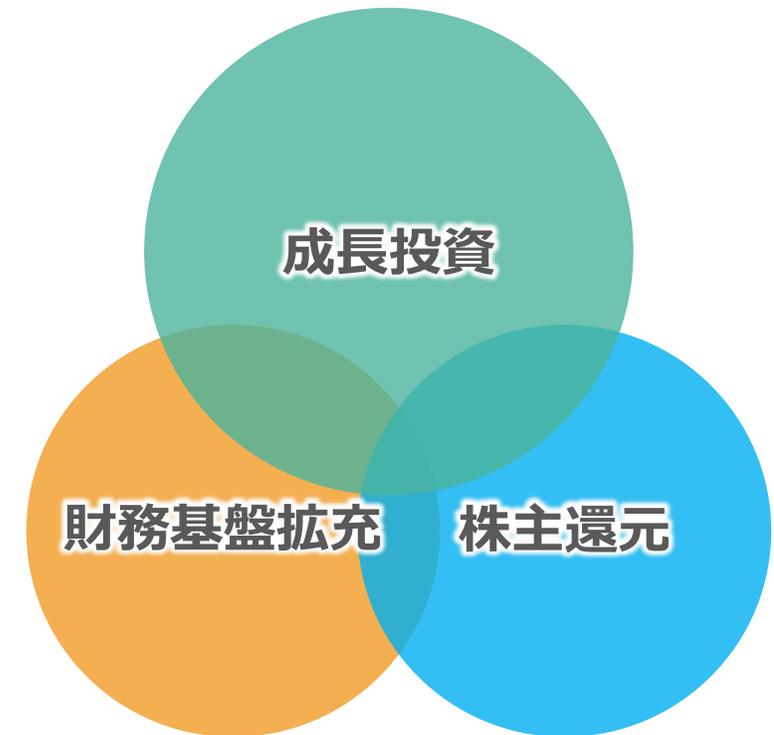
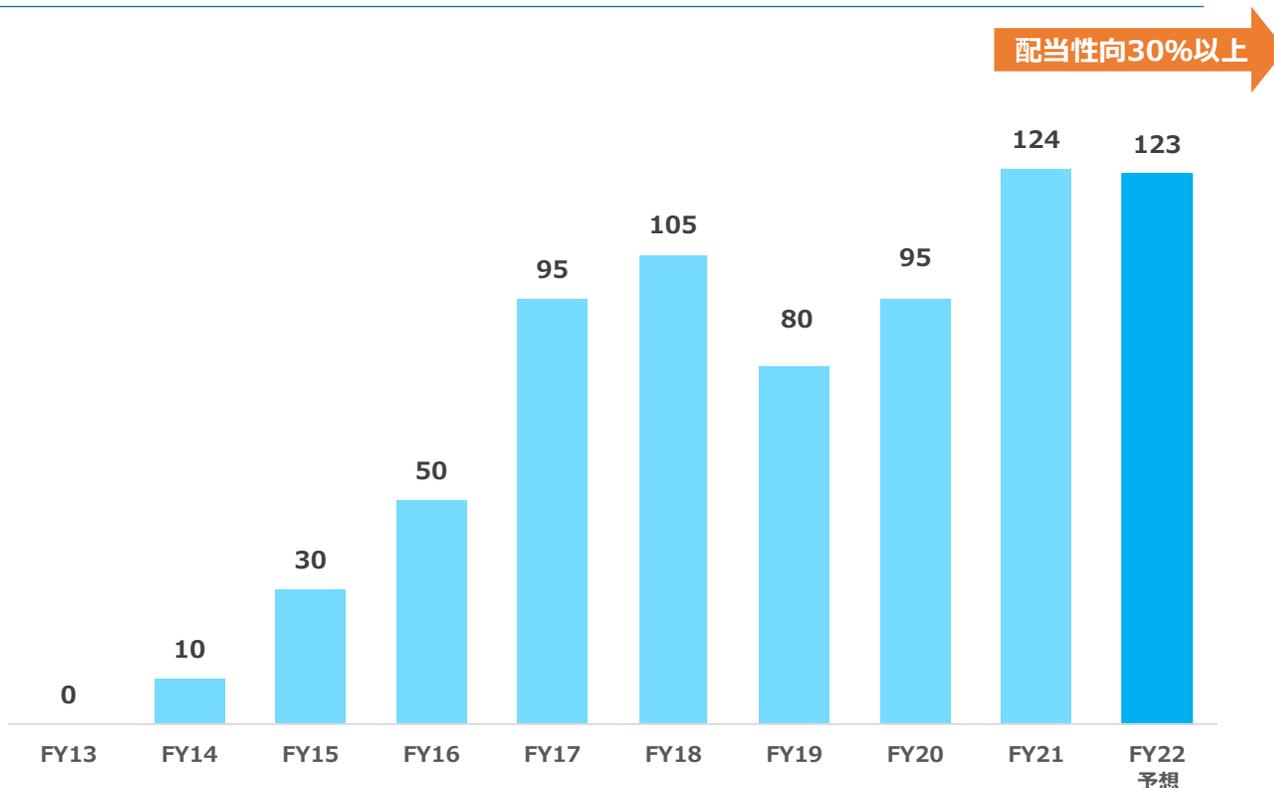
- 前年度活発化したITパネル用LCD投資の反動減見込みを上回る投資継続
- ITパネル用大型基板OLED投資のタイミングずれで下振れ
- バッテリー用巻取装置投資が始動（計画・前回予想を上回る）

来期以降

- ITパネル用大型基板OLEDスパッタ装置の量産投資開始：搬送技術・高精細対応での強みを活かし、確実にシェア獲得目指す
- バッテリー用巻取装置の本格投資開始：量産技術で先行 複数社とのビジネス開始で100億円以上の受注を見込む

- 成長分野への開発投資を強化し、更なる成長を実現するとともに、長期的な配当増額を目指す
- 従来より、株主還元を最重要政策の一つと位置づけ、着実に配当を増額
今年度については、安定配当の観点から2月に公表した1株当たり配当123円を据え置き
- 業界変動や技術革新の激しい業界にあり、それらのリスクや資金需要に対応するため財務基盤も拡充

1株当たり配当金推移 【単位：円】





補足資料

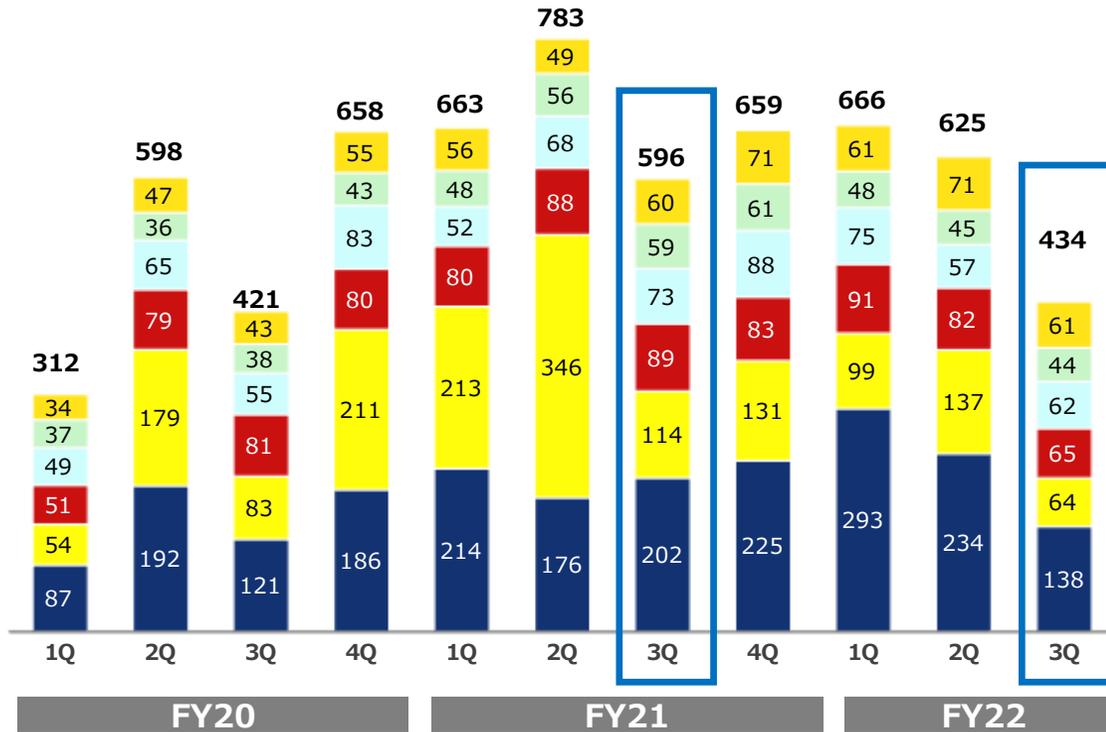
四半期連結業績推移

【単位：億円】	2021年度				2022年度				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	
	受注高	663	783	596	659	666	625	434	-162	-27%
売上高	474	583	604	752	562	552	496	-108	-18%	
売上総利益	132	189	186	230	165	168	147	-39	-21%	
率	27.9%	32.4%	30.8%	30.6%	29.3%	30.5%	29.7%	-1.1pt	-	
販管費	97	110	105	125	113	115	125	+20	+19%	
営業利益	36	78	81	105	51	53	23	-58	-72%	
率	7.5%	13.5%	13.5%	14.0%	9.1%	9.7%	4.6%	-8.9pt	-	
経常利益	35	85	84	118	52	65	39	-45	-54%	
率	7.4%	14.6%	13.9%	15.6%	9.3%	11.8%	7.8%	-6.1pt	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	59	56	64	41	53	24	-32	-57%	
率	4.7%	10.1%	9.3%	8.6%	7.2%	9.6%	4.9%	-4.5pt	-	

品目別受注高・売上高推移（四半期）

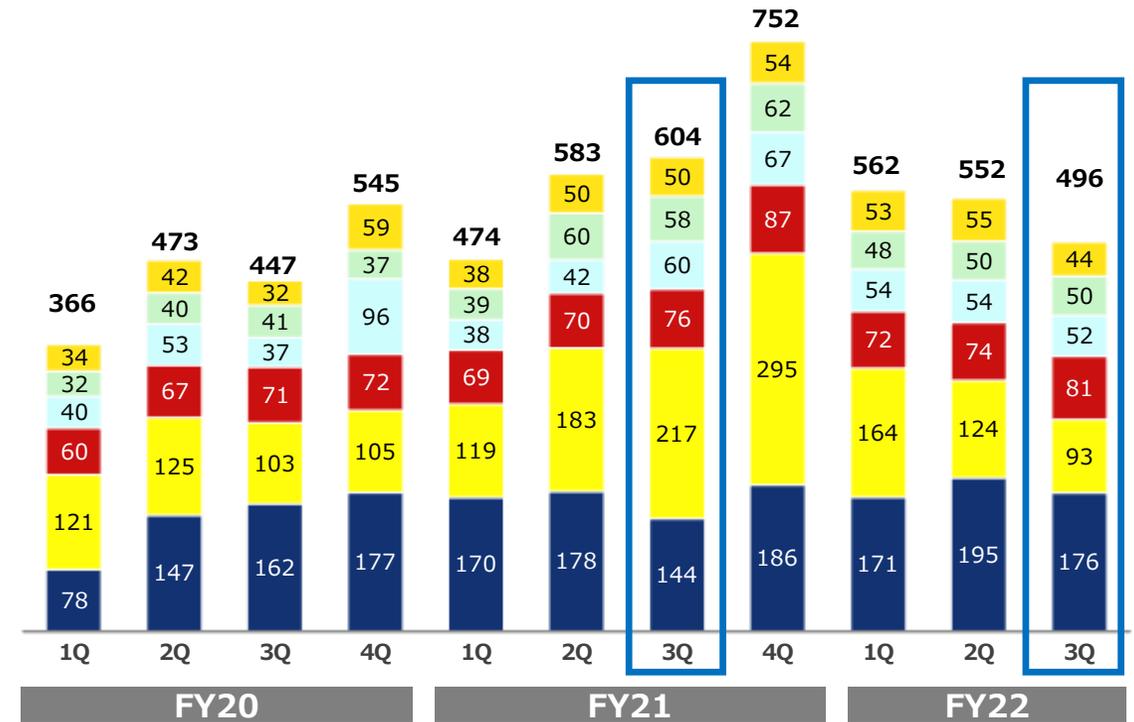
受注高 【単位：億円】

- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- 材料
- その他



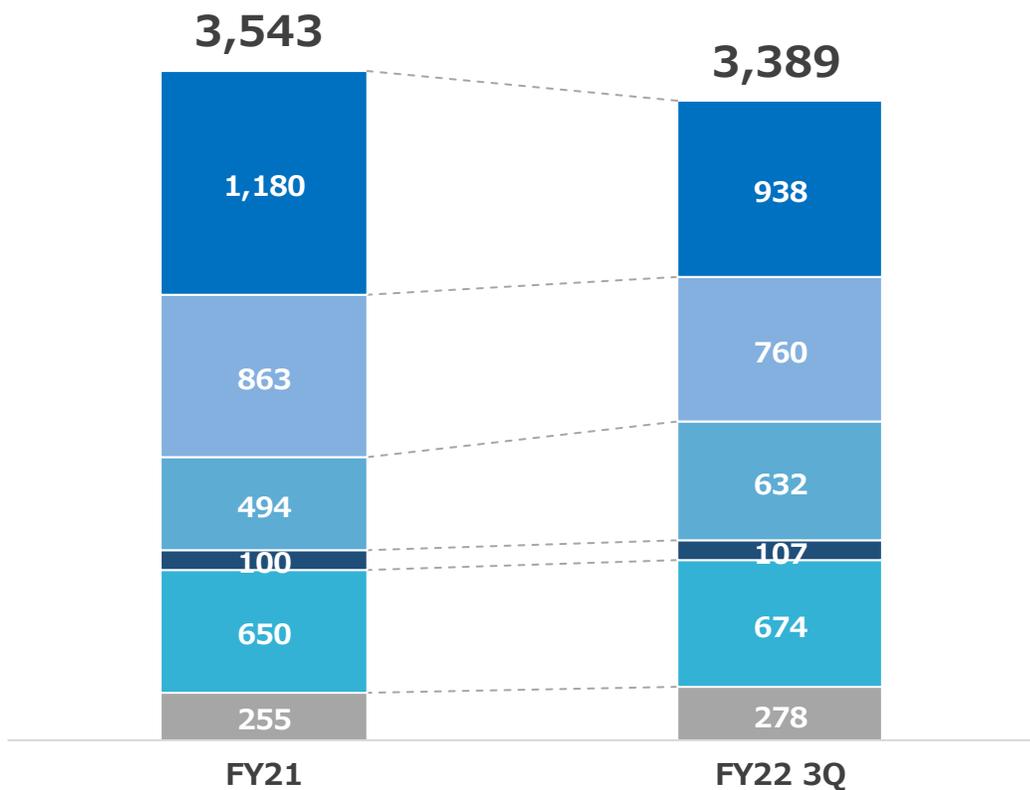
売上高 【単位：億円】

- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- 材料
- その他



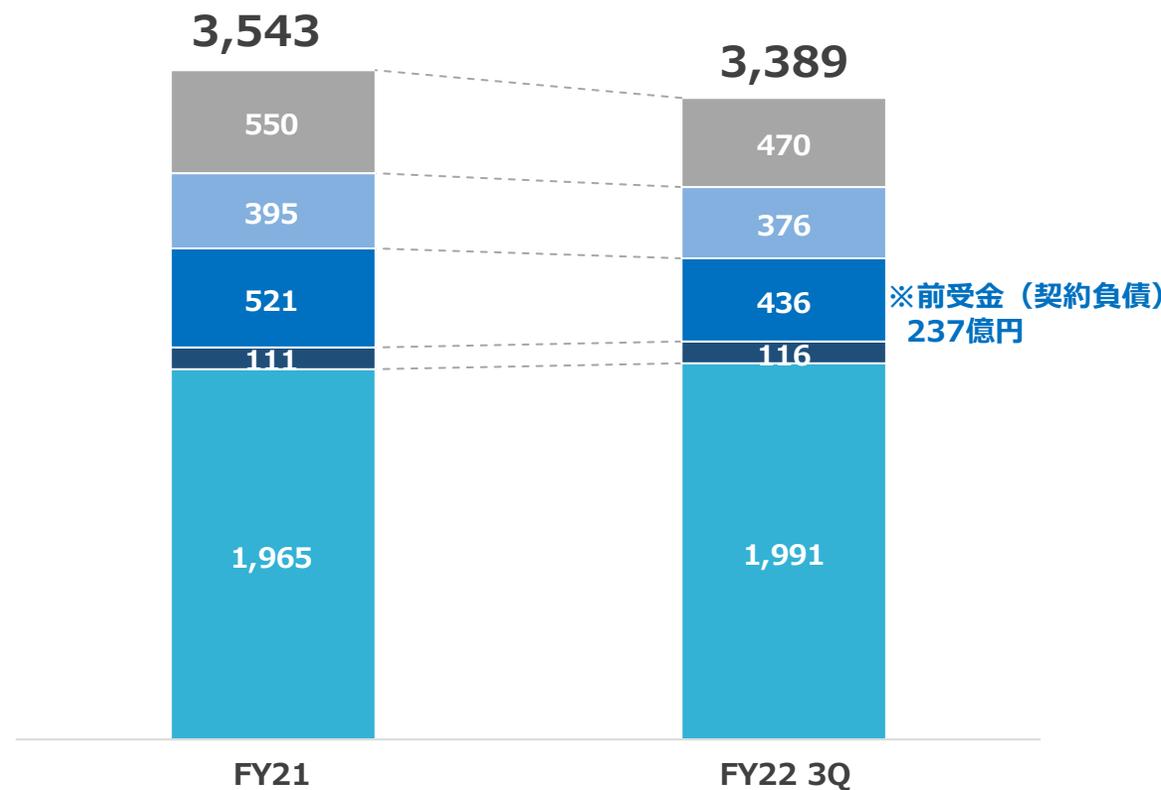
資産 【単位：億円】

- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- 棚卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 投資有価証券 他

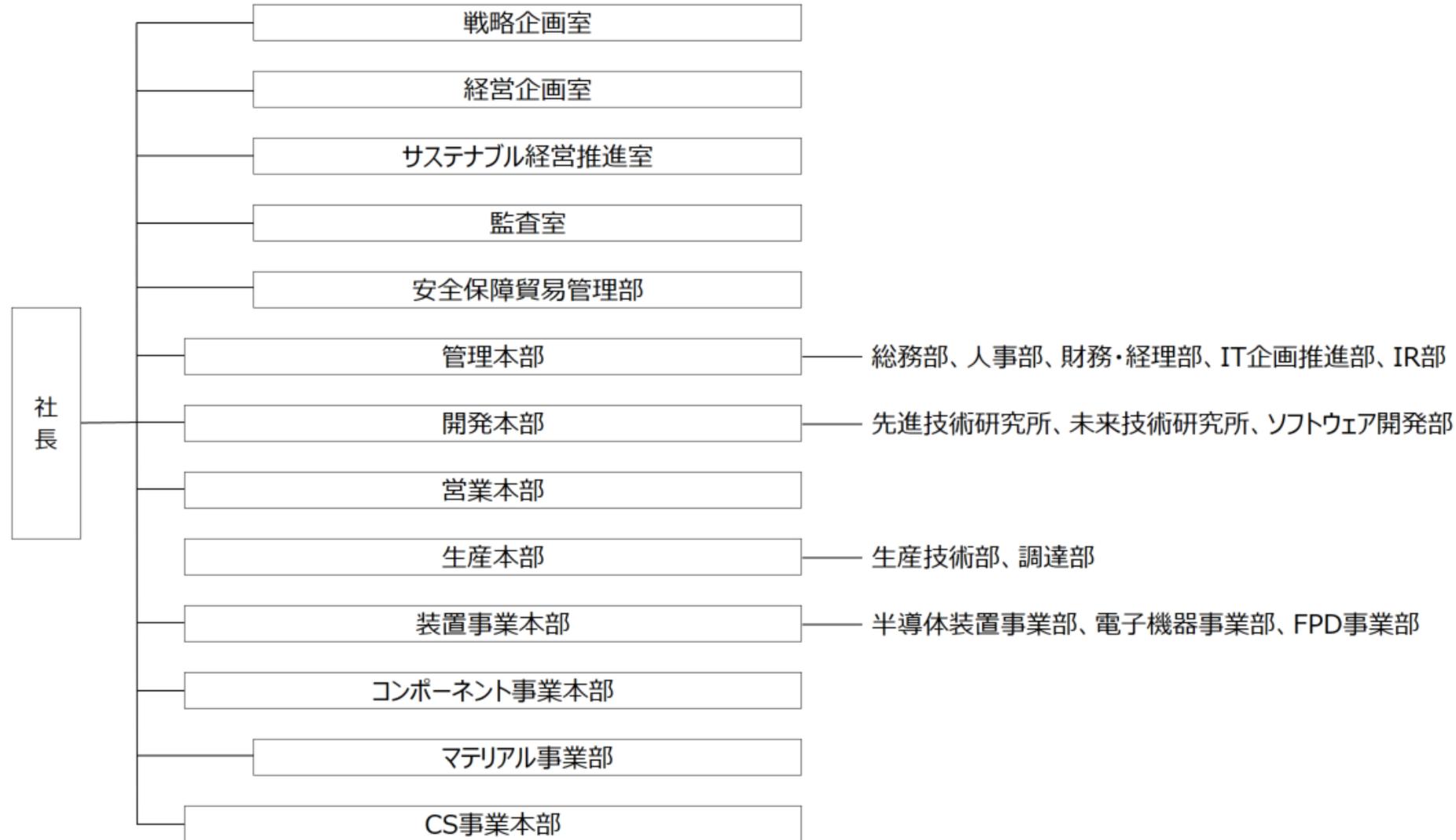


負債・純資産 【単位：億円】

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



- 本部制を採用してグループ一体化を図る（開発からCSまで）



スマート社会・
デジタル社会実現



グリーンエネルギー化
低消費電力化

社会的課題解決

メモリ	ロジック IC	センサー	通信デバイス	バッテリー
微細化		高性能化		低消費電力化

スパッタリング	真空薄膜形成技術	コンポーネント
エッチング		マテリアル
真空蒸着		CVD

さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC